

農技セ第7504号
平成30年5月7日

各関係機関長 殿
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

平成30年度技術情報について

平成30年度技術情報第1号を公表したので送付します。

平成30年度技術情報第1号

平成30年5月7日
徳 島 県

トマト黄化病の発生状況について

平成30年4月に、徳島市および阿波市内の施設トマト・ミニトマト栽培10圃場について、トマト黄化病の発生状況を病害虫防除所で調査しました。

その結果、本年3月に確認された名西郡石井町の圃場に加え、阿波市阿波町の2圃場で本病の発生が確認されました。今後、ウイルスを媒介するタバココナジラミおよびオンシツコナジラミの防除を徹底するよう指導をお願いします。

農作物名	トマト, ミニトマト
病害虫名	トマト黄化病
病原ウイルス	トマト退緑ウイルス <i>Tomato chlorosis virus (ToCV)</i>
媒介昆虫	タバココナジラミ(バイオタイプBおよびQ)およびオンシツコナジラミ

1. 調査方法

平成30年4月10日から11日まで、徳島市および阿波市内の施設トマト及びミニトマト栽培10圃場(徳島市2圃場, 阿波市土成町3圃場, 阿波市阿波町5圃場)を巡回し、本病の発病の有無を目視で確認した。さらに、疑わしい株については、黄化した葉を持ち帰り、農林水産総合技術支援センターで遺伝子診断法を用いて検定した。

2. 調査結果

阿波市阿波町の2圃場で疑わしい株が認められ(図1), 遺伝子診断により黄化した葉を検定した結果、両圃場から病原ウイルスである *Tomato chlorosis virus* が検出された。

3. 防除対策

基本的には、トマト黄化葉巻病防除対策と同様で、病原ウイルスの媒介虫タバココナジラミ及びオンシツコナジラミを施設内に入れない、施設外へ出さない、増やさないことが重要である。

- 1) 栽培施設の開口部(出入り口, サイド, 谷部など)に0.4mm目以下の防虫ネットを展張し, コナジラミ類の侵入を防ぐ。特に, 出入り口は二重にするなどして, 開放状態にならないよう注意する。すでにネットを展張している施設では, ビニルや防虫ネットに破損や隙間が無い点検し, 必要に応じて補修する。
- 2) 黄化症状等の認められない苗やコナジラミ類が寄生していない健全苗を定植する。
- 3) 施設内に黄色粘着板を設置し, コナジラミ類の早期発見に努める。
- 4) 定植時には必ず, ネオニコチノイド系薬剤(ベストガード粒剤, スタークル(アルバリ)ン)粒剤等)の施用やジアミド系薬剤のベリマークSCを灌注処理する。
- 5) 発病株は伝染源となるため, 見つけしだい抜き取り, 施設外へ持ち出し, 土中に埋めるかビニル袋に密封して枯死させる等, 適正に処分する。
- 6) 同一系統の薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるため避けるとともに, 気門封鎖系薬剤や生物農薬農薬等を利用し, コナジラミ類の密度抑制に努める(表1, 2)。
注) 農薬を使用する際は, マルハナバチ等有用昆虫への影響を確認すること。
- 8) 施設周辺及び施設内部の雑草は, コナジラミ類の生息, 増殖場所となるため, 栽培期間中は定期的に除草する。
- 9) 野良生えトマトは, 重要な伝染源となるため, 適正に処分する。
- 10) 栽培終了時には, 株を切断・抜根し枯死させると同時に, 施設を密閉して蒸し込み処理を行い, 生息しているコナジラミ類を死滅させ, 施設外への拡散を防ぐ。
- 11) 防除等の詳細については, 徳島県植物防疫指針を参照するとともに, 薬剤の使用に当たっては, 必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。



図1 阿波市のトマト圃場で確認されたトマト黄化病の病徴

表1 トマトに登録のある農薬(登録内容:2018年5月7日現在)

作物名	農薬通称	希釈倍数使用量	散布液量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	RAC1	RAC2
トマト	アクタラ粒剤5	1g/株		定植時	植穴処理	1回	4A	
トマト	アベイル粒剤	2g/株		育苗期後半～定植当日	株元散布	1回	4A	28
トマト	アルバリン粒剤	1～2g/株		育苗期	株元散布	1回	4A	
トマト	アルバリン粒剤	1～2g/株		定植時	植穴土壌混和	1回	4A	
トマト	スタークル粒剤	1～2g/株		育苗期	株元散布	1回	4A	
トマト	スタークル粒剤	1～2g/株		定植時	植穴土壌混和	1回	4A	
トマト	ダントツ粒剤	1～2g/株		定植時	植穴処理土壌混和	1回	4A	
トマト	ベストガード粒剤	5g/培土L		は種時又は鉢上げ時	育苗培土混和	1回	4A	
トマト	ベストガード粒剤	1～2g/株		育苗期	株元処理	1回	4A	
トマト	ベストガード粒剤	1～2g/株		定植時	植穴処理土壌混和	1回	4A	
トマト	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	4A	
トマト	アドマイヤー顆粒水和剤	5000～10000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	4A	
トマト	アルバリン顆粒水溶剤	2000～3000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	4A	
トマト	スタークル顆粒水溶剤	2000～3000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	4A	
トマト	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	4A	
トマト	ベストガード水溶剤	1000～2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	4A	
トマト	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	4A	
トマト	アニキ乳剤	1000～2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	6	
トマト	アフーム乳剤	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	6	
トマト	コロマイト乳剤	1500倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	6	
トマト	コルト顆粒水和剤	4000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	9(B)	
トマト	チェス顆粒水和剤	5000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	9(B)	
トマト	ノーモルト乳剤	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	15	
トマト	クリアザールフロアブル	2000～4000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	23	
トマト	モベントフロアブル	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	23	
トマト	エコビタ液剤	100～200倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	-	未	
野菜類	オレート液剤	100～300倍	100～300L/10a	発生初期～収穫前日まで	散布	-	未	
トマト	サンクリスタル乳剤	300倍	150～500L/10a	収穫前日まで	散布	-	未	
野菜類	粘着くん液剤	100倍	150～300L/10a	収穫前日まで	散布	-	未	
野菜類	ゴッツA	500～1000倍	100～300L/10a	発生初期	散布	-	未	
トマト	ボタニガードES	500～2000倍	100～300L/10a	発生初期	散布	-	未	

表2 ミニトマトに登録のある農薬(登録内容:2018年5月7日現在)

作物名	農薬通称	希釈倍数使用量	散布液量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	RAC1
ミニトマト	スタークル粒剤	1～2g/株		育苗期	株元散布	1回	4A
ミニトマト	スタークル粒剤	1～2g/株		定植時	植穴土壌混和	1回	4A
ミニトマト	ダントツ粒剤	1～2g/株		定植時	植穴処理土壌混和	1回	4A
ミニトマト	ベストガード粒剤	1～2g/株		定植時	植穴処理土壌混和	1回	4A
ミニトマト	モベントフロアブル	1000倍	25～50mL/株	育苗期後半	灌注	1回	23
ミニトマト	アドマイヤー顆粒水和剤	5000～10000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	4A
ミニトマト	アルバリン顆粒水溶剤	2000～3000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	4A
ミニトマト	スタークル顆粒水溶剤	2000～3000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	4A
ミニトマト	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	4A
ミニトマト	ベストガード水溶剤	1000～2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	4A
ミニトマト	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	4A
ミニトマト	ディアナSC	2500倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	5
ミニトマト	アニキ乳剤	1000～2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	6
ミニトマト	アフーム乳剤	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	6
ミニトマト	コロマイト乳剤	1500倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	6
ミニトマト	コルト顆粒水和剤	4000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	9(B)
ミニトマト	チェス顆粒水和剤	5000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	9(B)
ミニトマト	ウララDF	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	29
ミニトマト	カスケード乳剤	4000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	15
ミニトマト	ノーモルト乳剤	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	15
ミニトマト	クリアザールフロアブル	2000～4000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	23
ミニトマト	モベントフロアブル	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	23
ミニトマト	エコビタ液剤	100～200倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	-	未
野菜類	オレート液剤	100～300倍	100～300L/10a	発生初期～収穫前日まで	散布	-	未
ミニトマト	サンクリスタル乳剤	300倍	150～500L/10a	収穫前日まで	散布	-	未
野菜類	粘着くん液剤	100倍	150～300L/10a	収穫前日まで	散布	-	未
野菜類	ゴッツA	500～1000倍	100～300L/10a	発生初期	散布	-	未
ミニトマト	ボタニガードES	500～2000倍	100～300L/10a	発生初期	散布	-	未